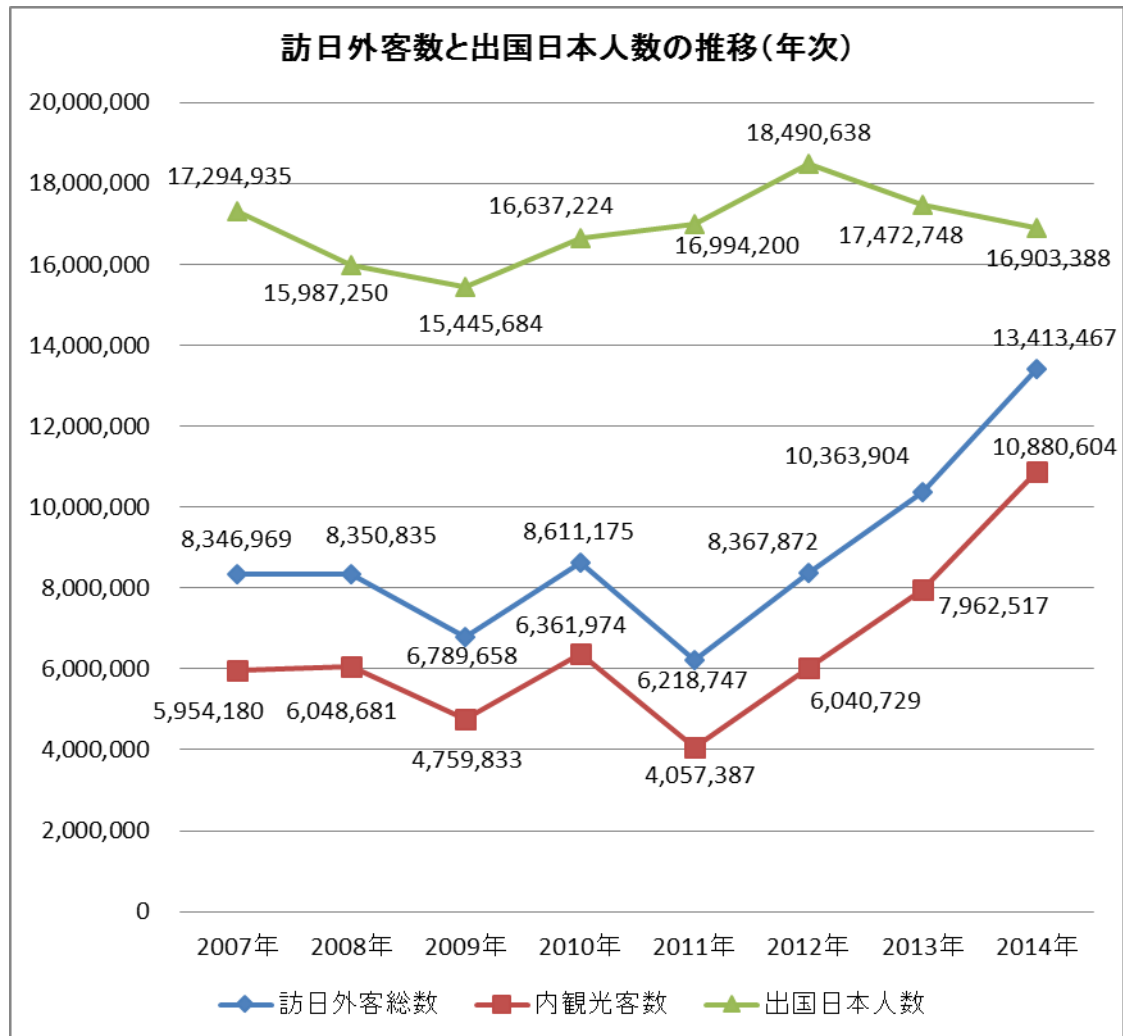


訪日外客数等に関するデータ（2015年5月）

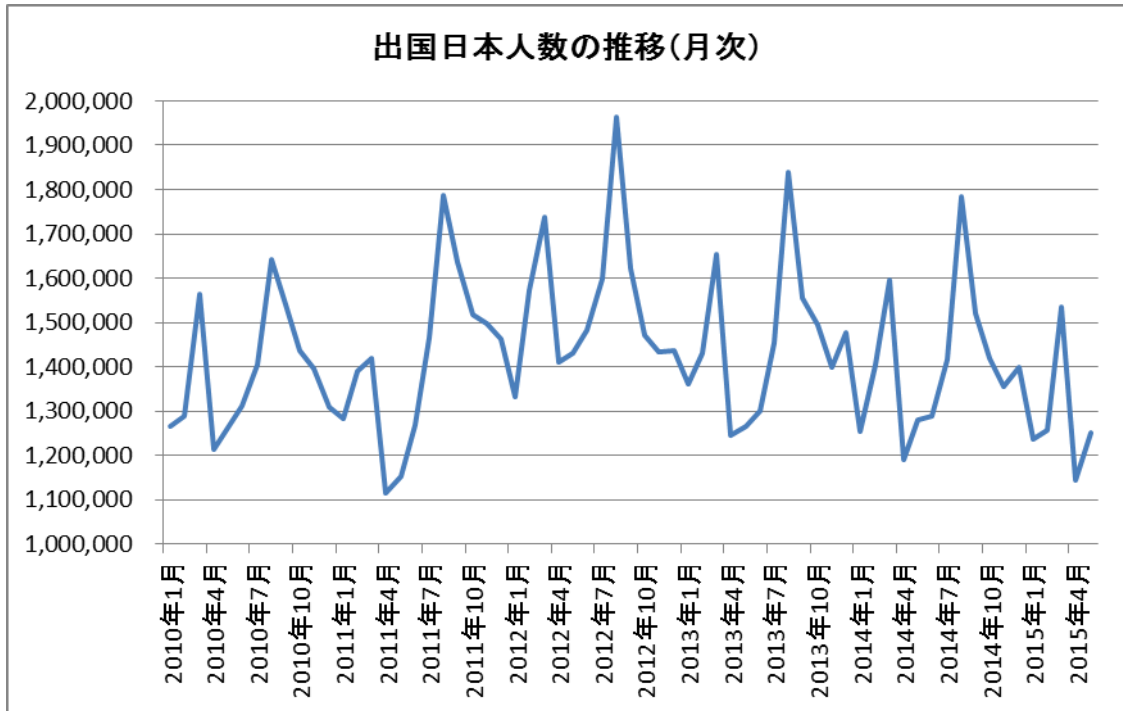
1. 訪日外客数と出国日本人数の推移（年次）



訪日外客数は2008年9月のリーマンショック後の金融危機に見舞われた2009年、更に2011年3月11日の東日本大震災による原発事故の影響により、いずれも大きな減少となりました。2012年以降は、大幅に訪日外客数は増加しており、2013年は円安の影響もあり、初めて訪日外客数が1,000万人を突破し、続く2014年は1,300万人を超える大幅な増加となりました。1位から3位韓国、台湾、中国は200万人を超えており、次いで香港、米国となっています。2013年7月1日から順次、東南アジアやアラブ首長国連邦はビザの緩和措置が取られたためアジア圏の訪日客数が急増しています。

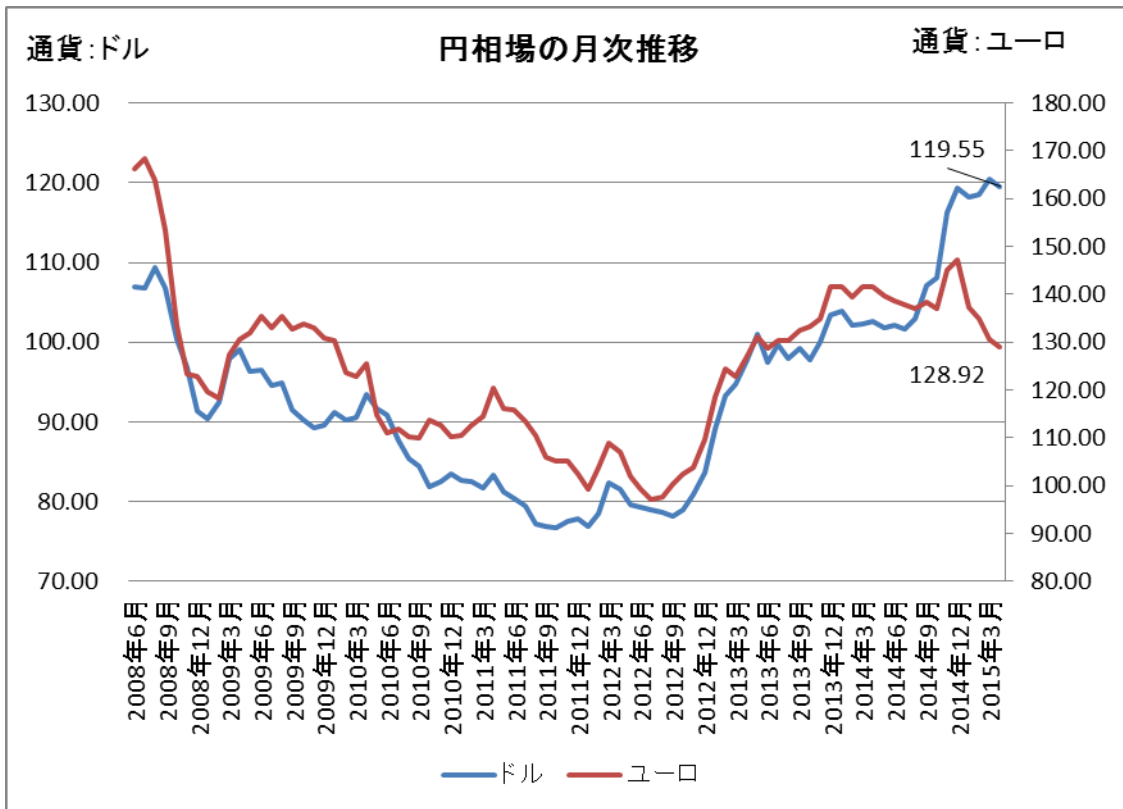
一方、出国日本人は2012年をピークに、2013年は減少に転じています。

2. 訪日外客数の内訳

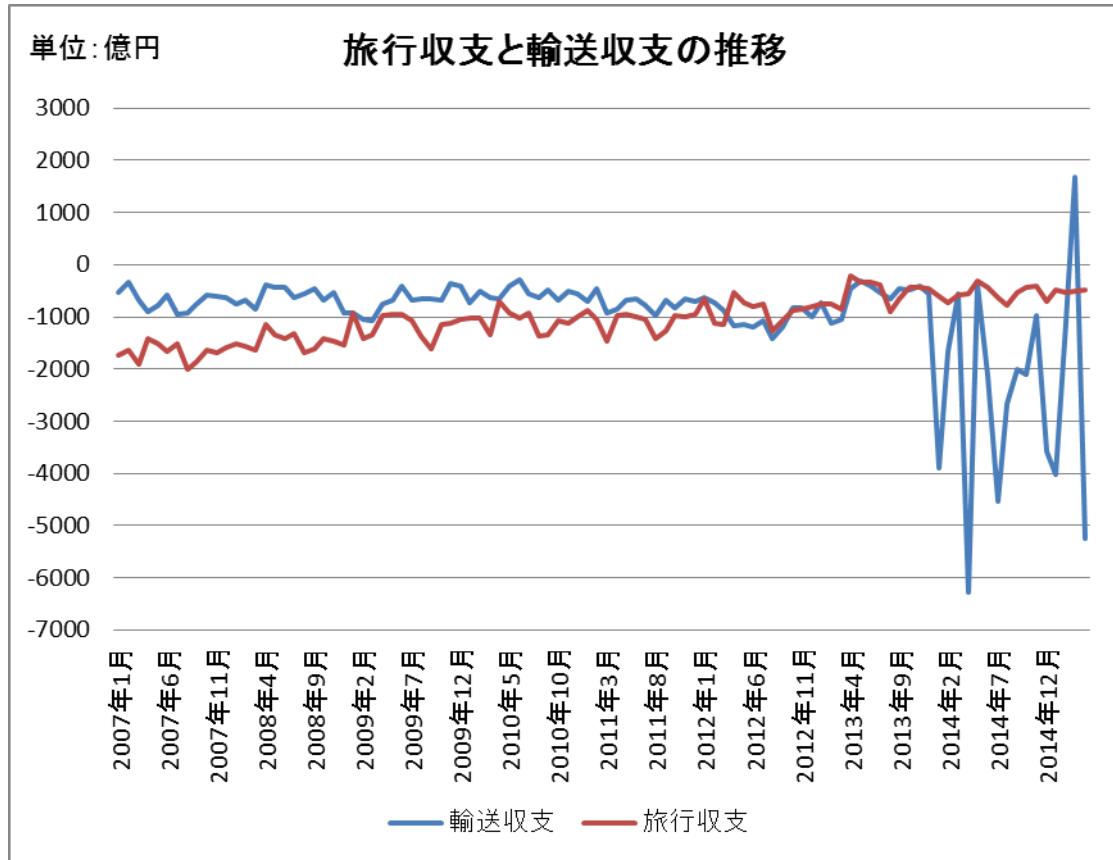


※印は JNTO の推計値

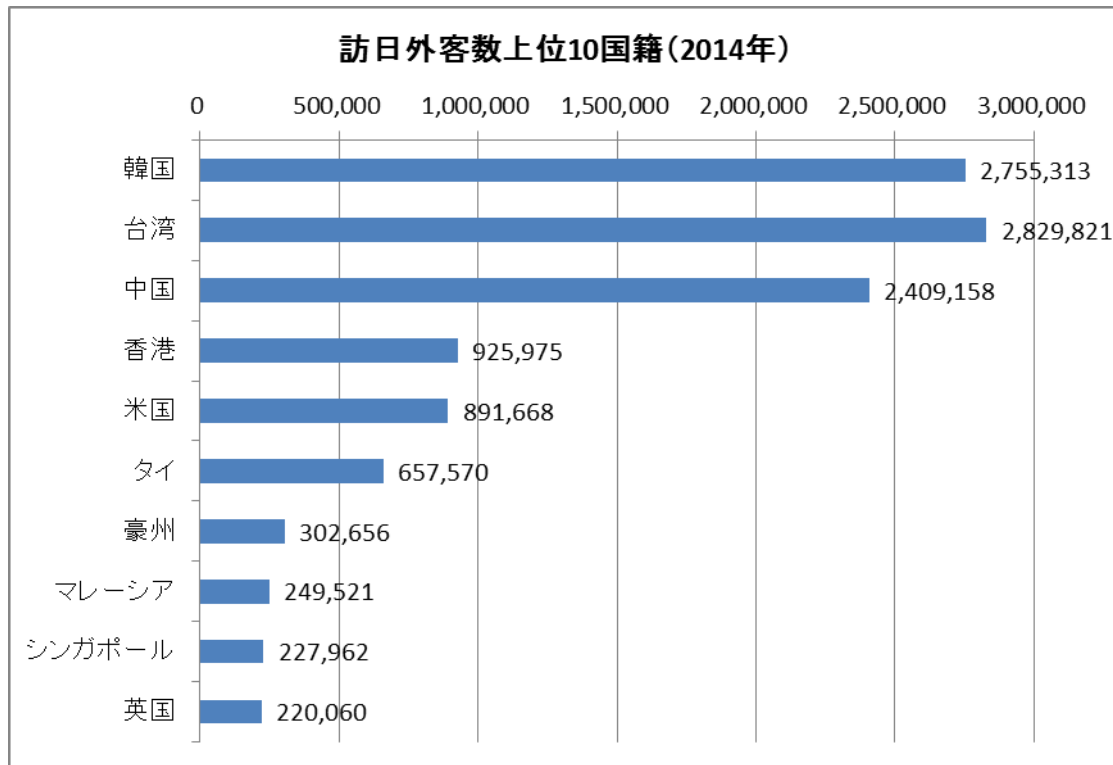
3. 為替水準



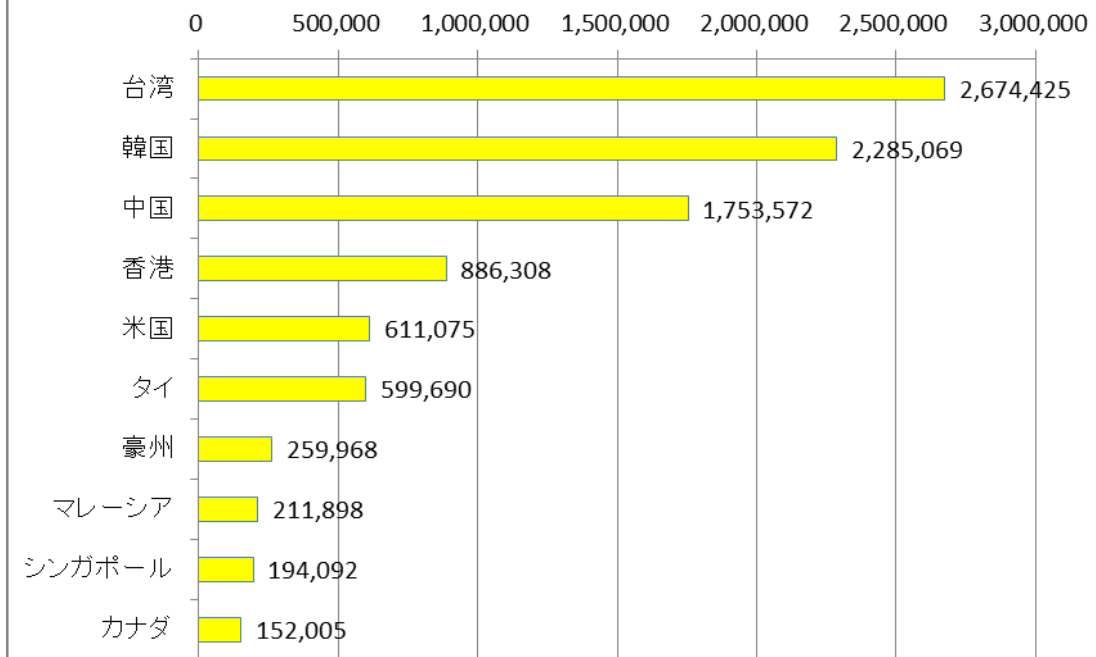
4. 旅行収支と輸送収支



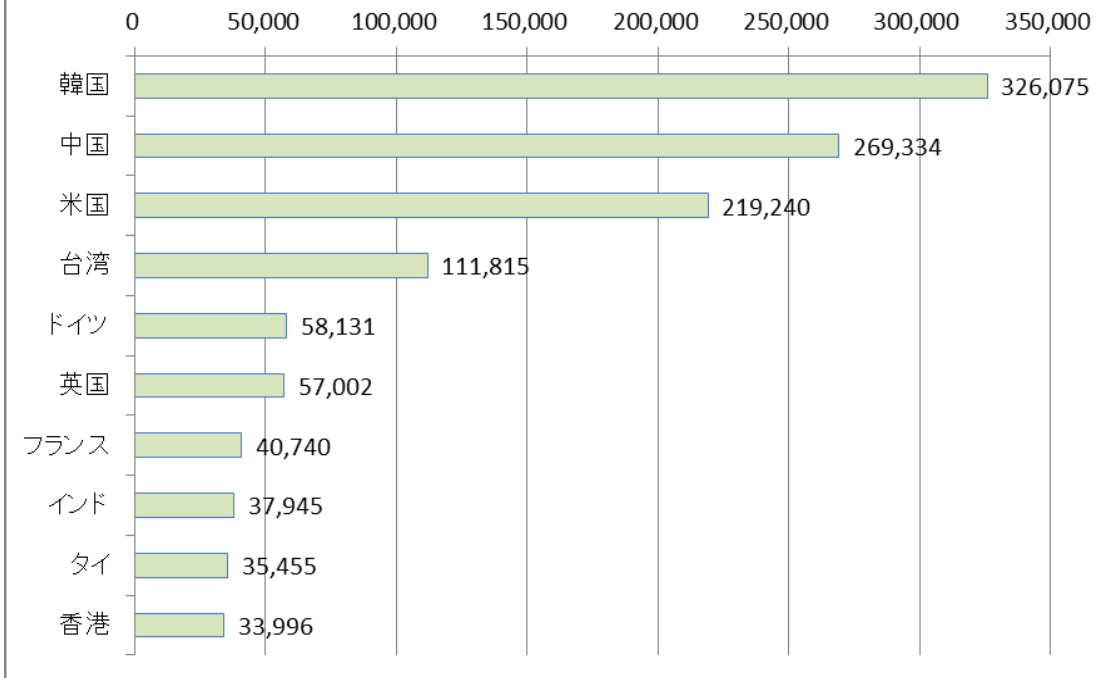
5. 訪日外客数 (2013年)

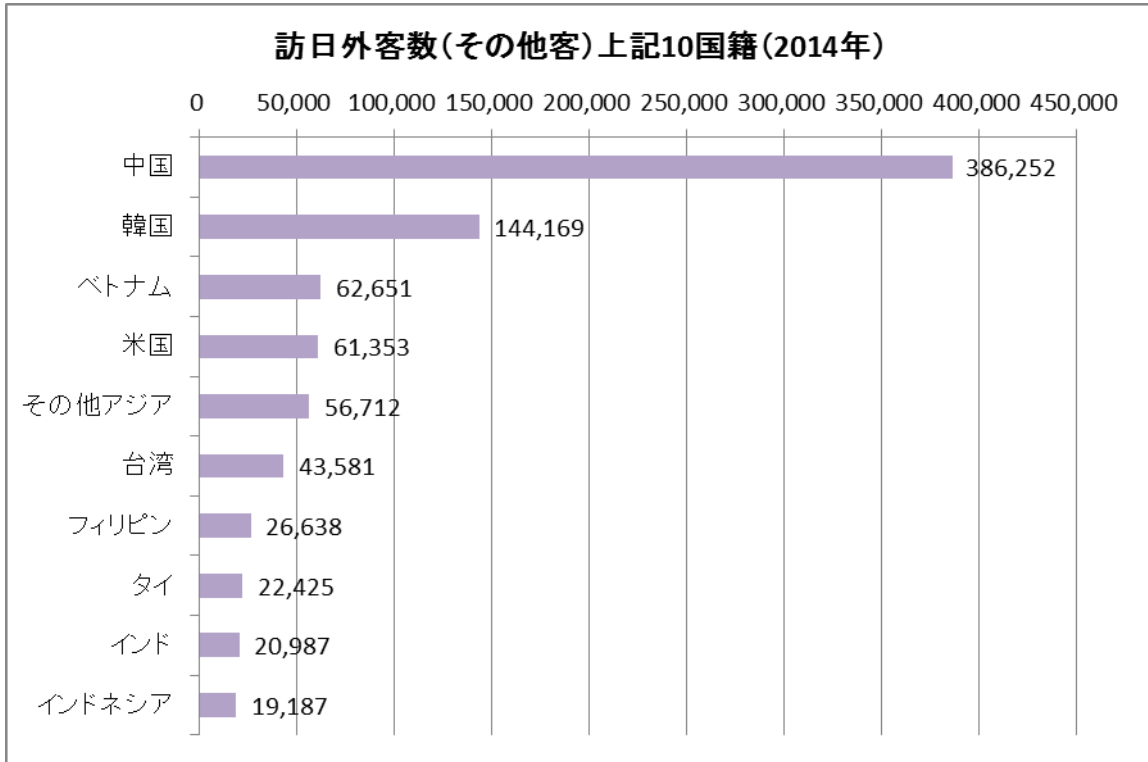


訪日外客数(観光客)上位10国籍(2014年)



訪日外客数(商用客)上記10国籍(2014年)





【出典】

日本政府観光局（JNTO）を基に株式会社リアルプロ・ホールディングスが作成
 財務省国際政策のデータを基に株式会社リアルプロ・ホールディングスが作成
 為替水準は日経新聞景気指標のデータを基に株式会社リアルプロ・ホールディングスが作成

【用語解説】

輸送収支：旅客運賃や財貨の移動、乗員を含む全ての輸送サービスに関する取引。
 旅行収支：旅行者（ビジネス含む）が外国で使ったお金と外国人旅行者（ビジネス含む）が日本で使ったお金の収支。